

情報公開内容

1 課題名：CTガイド下肝ラジオ波焼灼療法における焼灼範囲の予測

本研究の目的

ラジオ波焼灼療法は、肝臓に対する治療法として広く行われています。経皮的に焼灼用針を穿刺する場合、エコーガイドに穿刺することが多いが、横隔膜直下の病変などエコーで描出できない場合等はCTガイドに穿刺されることがあります。しかしCTガイドに穿刺する場合、CTでは焼灼範囲が描出されにくいという弱点がありました。今回我々は焼灼開始前にワークステーション上で焼灼範囲を予測する方法を開発しその有用性について評価することが目的です。

研究予定期間

承認日から2019年4月まで

本研究の対象

2016年6月から2016年10月の間で、高知大学医学部附属病院にて肝臓に対しCTガイド下肝ラジオ波焼灼療法を施行した患者様（予定被験者数7名）

本研究の意義

肝ラジオ波焼灼療法における焼灼範囲の予測することにより、肝臓に対するラジオ波焼灼療法の治療効果の向上や、合併症の低減につながると思われまます。

研究の方法

肝臓に対するラジオ波焼灼療法前の焼灼予想範囲と術後の焼灼範囲を比較します。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(CTなど)、臨床情報（既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など）です。

個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

高知大学医学部附属病院 放射線科

担当者：助教 吉松 梨香

連絡先電話番号：088-880-2367

研究責任者：高知大学医学部放射線医学講座 山上卓士